

卒論

B6R11120 土屋慧介

津波避難ビルのキャパシティの問題 について検証（仮）

対象地区…藤沢市片瀬・鵜沼地区の沿岸部

観光客数…年間400万人

津波浸水予測…「慶長型地震」のシナリオより

津波到達時間：72分

最大津波高さ：9.5m

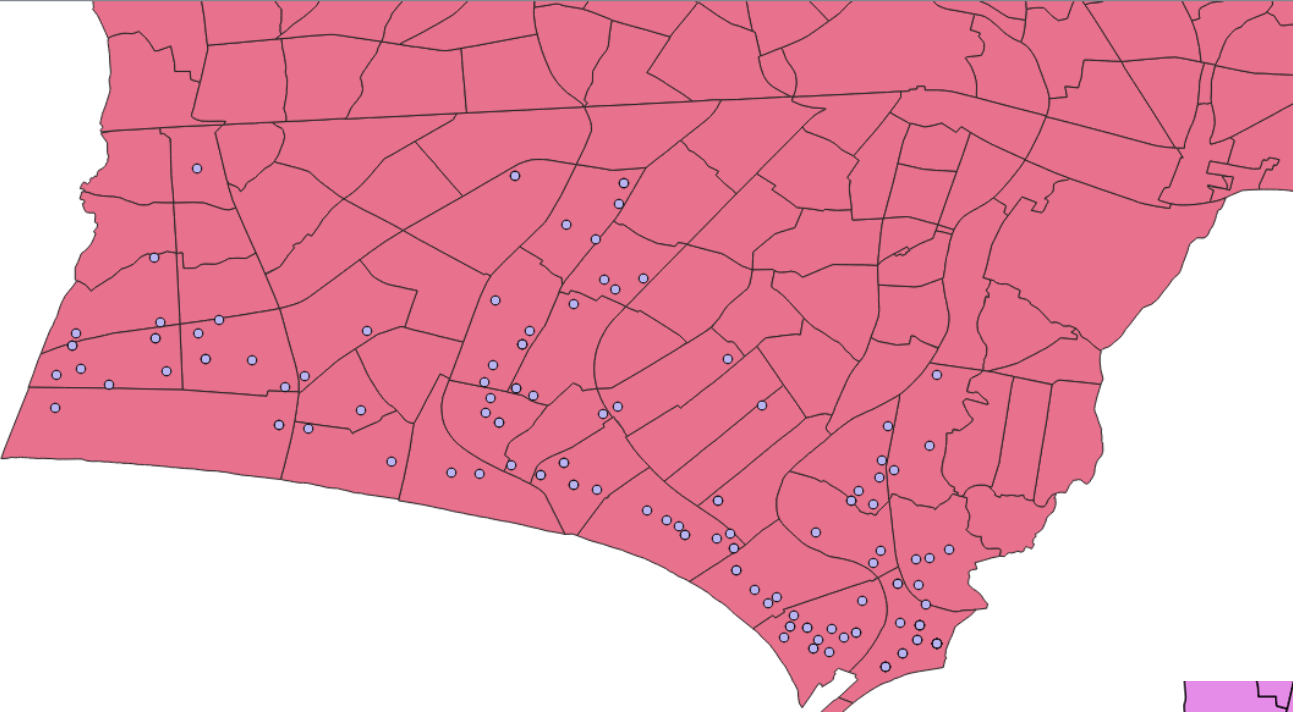
2011年10月31日現在

藤沢市津波避難ビル棟数：183棟

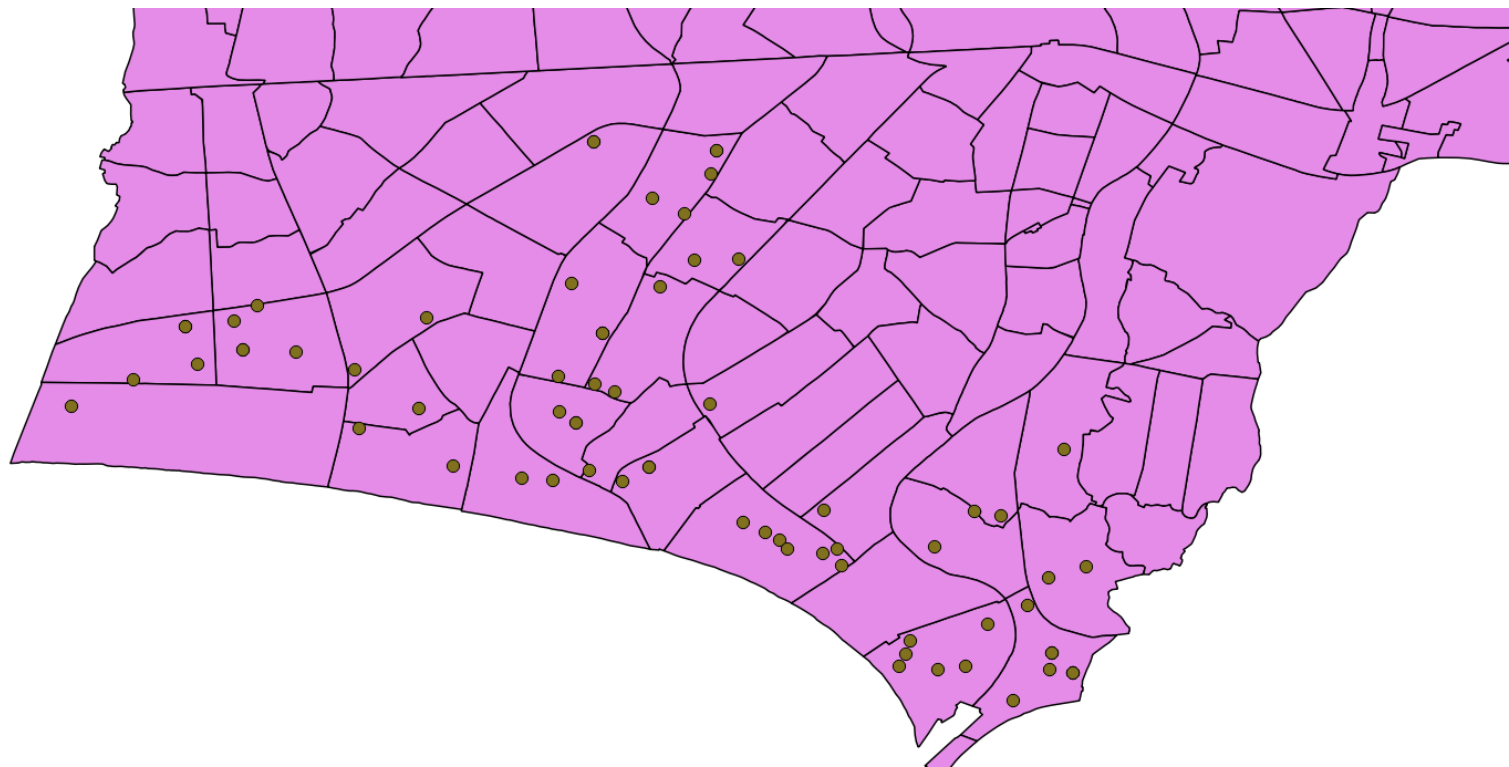
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	No.	地区	建物名称	所在地	階数	屋上	収容人数	オートロック	棟数
2	1	片瀬	江ノ島ビュータワー	片瀬海岸1-12-17	10	○	305	○	1
3	2	片瀬	江ノ島サマリーナ	片瀬海岸1-12-16	11	○	610	○	1
4	3	片瀬	ルックハイツ江ノ島	片瀬海岸1-12-13	13	○	1305		1
5	4	片瀬	シルフィード湘南	片瀬海岸1-11-20	5	○	627	○	1
6	5	片瀬	ほてる汐彩	片瀬海岸1-7-3	4	○	253		1
7	6	片瀬	特別養護老人ホーム鵠生園	片瀬海岸1-7-9	4	○	1204		1
8	7	片瀬	片瀬ロジューマン	片瀬海岸1-7-1	6		279		1
9	8	片瀬	江ノ島タクシー株式会社	片瀬海岸1-10-14	2	○	194		1
10	9	片瀬	シーサイドコート片瀬海岸	片瀬海岸1-7-22	5	○	471	○	1
11	10	片瀬	湘南グリーンハイツ1号棟・2号棟	片瀬海岸1-8-22～30	5~7		1770		2
12	11	片瀬	国家公務員共済組合連合会片瀬保養所	片瀬海岸1-7-23	3		1263		1
13	12	片瀬	藤和江ノ島ホームズステージII	片瀬海岸1-7-27	5		216	○	1
14	13	片瀬	江ノ島マンション	片瀬海岸1-8-20	6	○	1353		1
15	14	片瀬	シーサイド片瀬江ノ島	片瀬海岸1-8-21	11		143	○	1

Fujisawa





オートロックあり
棟数：136棟
収容人数：88,004人



オートロックなし
棟数：72棟
収容人数：59,002人

- 必要なデータ

避難者数の設定

→ 既往研究を参考とする

津波避難ビルごとの収容面積

→ 既往研究のデータがあれば参考にしたい

避難者一人当たりの面積

→ 藤沢市の設定 $0.6\text{m}^2/\text{人}$ ～で検証

オートロックの有無も検証内容に加える

- 結果

より現実的な収容能力の調査結果を算出する
(1人当たりの面積4パターンくらいで)

オートロックの有無でどれほど収容能力の差が表れるか
(住人以外は入れないこと前提)

高台方向へ避難することを想定した
避難施設・経路の検討（仮）

- 必要なデータ

避難者数

→ 既往研究のデータを参考とする、住民データあれば…

避難開始地点

→ メッシュに区切りそれぞれの中心点から避難開始

避難経路

→ 高台方向かつ最短で津波避難ビルに到達する経路

避難完了までの時間の差を求める

- 結果

高台方向へ逃げることを前提とすると結果にどれほどの相違が現れるのか

オートロックの有無で避難完了までの時間がどれほど変化が生じるのか